

新型ポータブル水素吸入器を提案 パラアスリートとのスポンサー契約も

イズミス

(株)イズミス(大阪府中央区)は、水素製品ブランド「La Briller(ラブリエ)」シリーズの新製品として、昨年12月に上市したポータブル水素吸入器『ラブリエエラン2』の拡販を進めている。

同品は、デザインに優れ、手のひらに乗るコンパクトサイズながら、毎分60mLの水素ガスを発生する点が特長。ノートPCやスマートフォンなどの電源と共用できる最新の給電規格「USB Power Delivery」

も採用し、モバイルバッテリーで長期使用も実現している。健康増進機器の認証も取得済み。

また水素吸入器では初となる専用スマートフォンアプリ『h2 habit』(開発:(株)ビレイ)も併せて提案。Google PlayやApp Storeから無料ダウンロードして使用することで、日々の水素吸入時間を自動で記録し、週間レポートやグラフ化、精製水交換時のお知らせ、吸入時間設定等の本体操作なども可能となる。楽しみながら水素吸入を習慣化するためのツールとして提案している。今後はアプリのコンテンツも充実させていく方針。

同社は、プロバスケット「Bリーグ」の大阪エヴェッサや武庫川女子大学体操部、鹿屋体育大学体操競技部などとスポンサー契約を締結。このため、『ラブリエエラン2』など同社製品は、東京五輪出場選手やプロ野球選手、女子サッカー選手、ショートトラックスピードスケート選手など、多くのアスリートから支持されている。

昨年末には、車椅子バスケットボールやパラクライマー、パリコレモデルとしても活躍中のパラアスリート・大内秀之選手と出会い、同氏が理事長を務める(一社)フォースタートの「障害の有無に関係なく、一緒に楽しみ学び合える社会を作

る」との活動内容に賛同、新たにスポンサー契約を締結した。

「コロナ感染で水素吸入に救われた大内選手からの問合せが出会いのきっかけだった」とのこと。

『ラブリエエラン2』は他にも、「水素BARアッシュ」を運営する(株)More Rebirthが2月に発売した軽キャンピングカーサロン『Salony』に搭載されるなど、順調に販路を拡大している。

